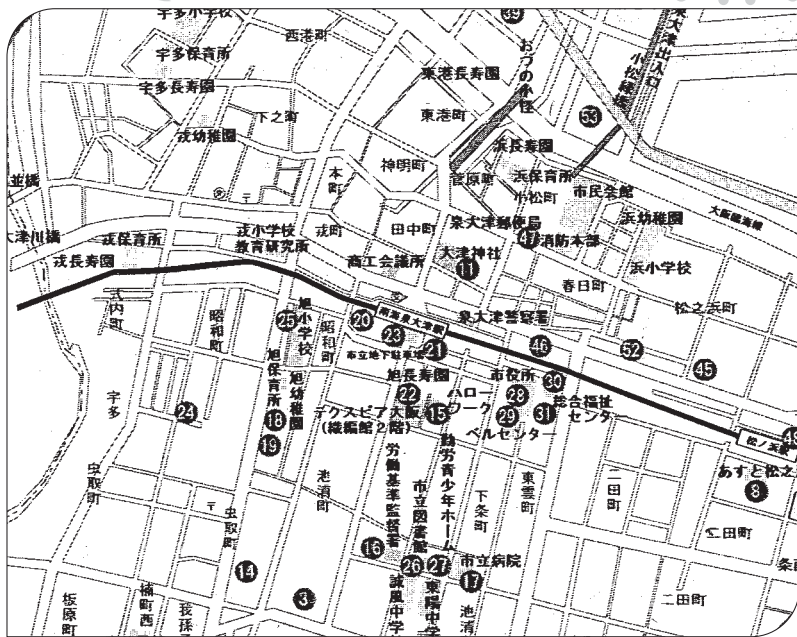


車椅子トイレマップ完成!!



車椅子を利用されているKさんが、「車椅子トイレマップを作りたいので支援してほしい」とボランティアセンターに来られました。相談を受けたボランティア連絡会では、役員会・グループ代表者会議でKさんと話し合いました。「車椅子での外出には困難が多いが、トイレの場所が分かれば困難が一つでも減ります。引きこもりがちになっている仲間の行動範囲を広げられます。」と話され、ボランティア連絡会で調査を引き受けることにしました。

調査は、市内全域を小学校区に分けて各グループが担当することになり、調査した場所は、公共施設・大型量販店・スーパーマーケット・コンビニエンスストア・公園・駅・遊戯場など人が多く出入りする所を一〇〇カ所余りです。トイレがあっても使用



(マップ作成中)

するに条件のある所などもあり、マップに記載したのは56カ所でした。お問い合わせ市社協ボランティアセンター
23-1393へ

あなたも外出しませんか

平成18年度 ボランティア保険 受付中!!

※18年度より申し込み用紙等が変更され、現在の用紙は使用出来なくなりますのでご注意ください。

お申込み・お問合せ 市社協 (23) 1393 へ

調査に参加して



(東雲公園のトイレ)

使用済みインクジェットカートリッジ 集めています!!

ご自宅などで使用しているパソコンプリンターのインクジェットカートリッジ。使い終わったらすぐ捨てていませんか?

企業において、使用済みカートリッジをリサイクルする取り組みがされており、その取りまとめのお手伝いをする事で、ボランティア活動資金が提供いただけることになりました。

使用済みインクジェットカートリッジをゴミ箱に入れる前に、ぜひ、ご提供下さい!!

- 回収対象 Canon、EPSONその他純正のインクジェットカートリッジ全般
- 回収方法 ボランティアセンターにお持ち下さい。
- 資金使途 ボランティアについて学べる場、交流の場等の事業に利用させていただきます。

ボランティアさん大募集!!

- ◆子どもが大好き!! ◆保育ボランティア
 - ◆手品が出来る!! ◆楽器の演奏が出来る!!
 - ◆パソコンが得意!!
- などなど……

特技ボランティアさん大募集しています。

その他、「ボランティアしてみたいな」「自分にも何か出来ることは?！」と思っている方。ボランティアセンターにお問い合わせ下さい。

※ボランティアセンター・ホームページも是非ご覧になって下さい。

<http://syakyou.or.jp/vc/index.html>

詳しくは市社協ボランティアセンターへ ・ 0725-23-1393

登録ボランティアグループ

○手話サークル「ひつじ」

毎週水曜日午後7時

場所 福祉センター

手話通訳・聴覚障害者との交流

○手話サークル「こひつじ」

毎週土曜日午後1時30分

場所 北公民館

手話通訳・福祉施設の行事の手伝い

○筆記通訳サークル「フアイト」

第2・4月曜日午後2時

場所 福祉センター

中途失聴者・難聴者援助

○点字サークル「にじ」

第2・4火曜日午前10時

場所 福祉センター

本の点訳

○朗読ボランティア泉大津

「あめんぼ」

毎週金曜日午前10時

場所 福祉センター

市の広報紙等の音訳・テープ雑誌等作成

○紙芝居ボランティア

「みずすまし」

第2・4月曜日午前10時

場所 福祉センター

紙芝居を演ずる活動

○「やくざ」

第1・3火曜日午後1時30分

場所 福祉センター

介護者(家族)の会への援助。介護用品作成

○さわる絵本グループ

「そよかぜ」

第1・3火曜日午前10時

場所 福祉センター

視覚障害児が、手でさわってわかる絵本の作製

○ガイドヘルパー「二歩の会」

身体障害者の外出介助

○精神保健福祉ボランティア

「はなみずき」

○高齢者福祉研究会

「あすなろ会」

第2水曜日午後7時

場所 福祉センター

高齢者福祉を考える住民組織活動を支援

ボランティアをお願いしたい方・活動してみたい方は、市社協ボランティアセンターへどうぞ。

布回丸洗いの乾燥サービス

受付します!

社会福祉協議会では、布団の丸洗い乾燥サービスを実施します。

対象者

介護保険における要介護度4・5で常時寝たきりの方、重度の身体障害者で常時寝たきりの方。

丸洗い乾燥サービスで対象となる品物

対象者が使用されている掛布団・敷布団各一枚、申し込み・希望される方は、4月3日(月)から14日(金)まで「介護保険被保険者証」または「身体障害者手帳」と印鑑をご持参のうえ市社会福祉協議会(福祉センター内)へお申し込みください。

お問い合わせ

市社協(23-1393)

編集後記

トイレマップ作成の調査をしていく中で、バリアフリーの考えが浸透して来ているのに、今の複雑な社会に適應する為に新しいバリア(時間制限等)が出来ている事を残念に思いました。災害に備えて早急に、小地域ごとに子ども・大人・高齢者を混えた防災マップ作成の必要性を強く感じました。